



第 69 号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会 広報誌

生き生き スポ進

KOHOKU

令和3年3月 発行
発行者
港北区スポーツ推進委員連絡協議会
編集
港北区スポーツ推進委員広報委員会
事務局
横浜市港北区大豆戸町26-1
横浜市港北区役所地域振興課内
電話 045-540-2238
FAX 045-540-2245



コロナ禍でのスポーツ推進委員の活動①

日吉地区の活動

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大から緊急事態宣言の発令となり、地域での活動ほとんどが中止になりました。もちろん、スポ進の行事も「定例会」を含めて中止です。それでも緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常が戻ると、活動も再開か？

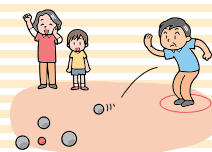
日吉地区 喜田 賢次

10月24日：さわやかスポーツ普及委員会主催
グラウンドゴルフ交流大会が新横浜の草地広場で開催され、日吉地区から3チームが参加。

11月3日：港北スポーツセンターで
「スポーツレクリエーションフェスティバル」が開催。菊名地区のスポーツ推進委員数名と、さわやかスポーツ普及委員会体験、日吉地区からミニバスケットボールチームの子どもたちが多数参加。

11月15日：港北区ペタンク大会。

日吉地区から7チーム
(スポ進2チーム)が参加。



12月6日：区役所にて開催された**ハマトレ講習会**に日吉地区から2名参加。後日、スポ進全員に資料を配付。



今後の予定

5月10日

日吉地区センターにて
「ボッチャ体験会」



5月30日

日吉台中学校にて
「日吉地区グラウンドゴルフ大会」



篠原地区の活動

篠原地区では、例年なら春に行われていたグラウンドゴルフ大会は、コロナの影響で実施を見合わせていましたが、様々な工夫をして、10月11日篠原中学校グラウンドにて、今までとは違った方法で実施することが出来ました。

参加者名簿に前日までの健康状態の把握、当日は受付にて全員の検温、消毒、マスクの着用を徹底、道具の消毒、スタート時は1ホール空けてのスタート、参加者の後日の健康状況等を監察することとし、行いました。

参加者からは楽しかった、またやってほしい等の声を頂くことができました。コロナで外出が制限されている中での実施は沢山の方に喜んで貰うことができ、今後も色々工夫しながら行事を行っていきたくと改めて確認出来た行事でした。

篠原地区 蒔野 秀治

コロナ禍でのスポーツ推進委員の活動②

城郷地区の活動

城郷地区では、新型コロナウイルス感染防止対策を実施して、歩け歩け大会（みかん狩り）を実施しました。地区内の老若男女、計104人の参加により、小机駅から新羽町所在のみかん園まで往復歩きで、みかん狩りに行きました。道中、みかん園でもマスク着用の上、間隔をあけて楽しみました。

城郷地区 荒木 和也



小松会長の「全国スポーツ推進委員連合功労者表彰」受賞インタビュー



平成11年からスポーツ推進委員を務め、第27期にあたる平成21年からは新羽地区の地区会長を務める。また、第31期からは港北区スポーツ推進委員連絡協議会の会長を務めている。

スポーツ経験：柔道、サッカー、バレーボール

現在は、自転車とカヤックで日本の海岸線を一周しながらソロキャンプをしている。

Q1:全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞した感想をお願いします。

耳の聞こえない私が25年間もの間地域活動が続けることができたのは、障害者でも活躍できる場を用意してくださった先輩諸氏。できないことを手助けしてくださった地域の皆さん。そして、行政の適宜適切な支援のおかげです。受賞は、港北区の地域活動を評価していただいたものと思っています。嬉しいです。

Q2:第32期はコロナ禍で多くの活動が制限されましたが、改めて第32期を振り返ってのご感想をお願いします。

ラグビーワールドカップと東京オリンピック開催を見据えて「スポーツ精神の力で築いた安全な港北区に、和の心と穏やかな笑顔で世界中からお客様をお迎えしよう」と、最初にご挨拶申し上げたときのワクワクした気持ちは今でも忘れません。当初は盛り上がり心配されていたラグビーワールドカップですが、スポーツ推進委員とスポーツ協会皆さんの熱意、そして区をあげて盛り上げ、日本代表の活躍もあって大成功を収めました。この成功は、日本のスポーツ史だけでなく、港北区にとっても大きなレガシーとなることでしょう。

主催する大会では、各委員会でも常に選手ファーストを念頭に議論され、様々な改善、工夫を講じました。そして、港北区スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員会とも一つの目的に向かって協力していくことを再確認することができました。

2020年度は、コロナ禍で活動が制限されてしまいましたが、情勢が混沌とするなかで行政からの適宜適切な状況報告、各地区会長の皆さんからの適切な助言のおかげで活動の自粛、イベント開催の可否を判断することができました。32期はたくさんのご支援とご縁を再確認することができました。感謝の念に堪えません。

Q3:4月から第33期のスポーツ推進委員の活動がスタートします。新たにスポーツ推進委員となる方に向けてメッセージをお願いします。

スポーツは多くの人々に嬉しさ、共感、感動を与え、世代を超えた絆を醸成し、人々の心をひとつにする力を持っています。そして、スポーツの精神に則って地域の和を育むことは、顔の見える地域を創造し、健康で安心して暮らせるまちづくりに貢献することができます。スポーツ推進委員の活動は、公務員としての職務であることを常に念頭に、何事も俯瞰的に公平公正の見地から感謝の気持ちを忘れずに職務を遂行していただきたいと思っています。

全国スポーツ推進委員連合功労者表彰とは・・・

長年に亘り、スポーツ推進委員として自己の研鑽に励むとともに、その属する地域のスポーツ振興に功績のあった者が、受けることができる表彰。

退任者インタビュー



スポーツ推進委員の退任にあたり

スポーツ推進委員に就任して18年が経ちました。また、地区会長を拝命して10年が経ちました。この間、様々な事を経験させていただきました。一番悩まされたのが天候でした。企画した事業のたびごとに、何日も前から天候を確認し、実施の可否、当日準備の段取りの変更要否など、頭を悩ますことは後を絶ちませんでした。中でも一番の思い出は、平成28年第21回港北区ペタンク大会です。樽町多目的公園は、まだ、改善されておらず、前日の雨の影響で、当日早朝のグラウンドは水浸し。大会実施は無理かと思われましたが、大会役員のスポーツ推進、区役所の方々の協力で、グラウンドの水を取り除き大会を実施することができました。

この経験により、2つの事の大切さをより改めて認識しました。

1つは、「強い思い」です。スポーツ推進の皆さん、区役所の皆さん、選手の皆さん、皆さんが実施したい強い思いを持って、誰一人中止を口にする事無く、率先してグラウンド整備をしていただけたからこそ大会を行うことができました。

もう一つは、大会準備の段取りの大切さです。大会に際しては、大会役員、区役所と大会実行委員会を開催し、事前準備や作業分担・手順を検討・確認します。段取りが十分検討でき、役員の方々が熟知していたからこそ、グラウンドの整備状況を確認しつつ、本部テントの設営など、次の準備を進めることができたと思っています。当日の状況を今思い出しても、スポーツ推進委員の皆さんの行動は素晴らしかったと感謝しています。

スポーツ推進委員に新しく着任される方、継続される方には、このような良い伝統を受け継ぎ、スポーツの推進に向け新たな挑戦を続けていただくことをお願いさせていただくとともに、地区、区のスポーツ推進委員の皆様の支えにより長期に活動を続けさせていただけたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

大倉山地区 天満 尚二



スポーツ推進委員の退任にあたり

平成21年、第27期体育指導委員(現、スポーツ推進委員)に任命され、第30期からは樽町地区会長、同時に専門委員会では、ペタンク副委員長を務めさせていただきました。

印象に残っていることとして、ペタンク大会やグラウンドゴルフ大会で使用する鶴見川樽町公園多目的広場は、今でこそ水はけのよいグラウンドに生まれ変わりましたが、以前は前日が雨の場合、あちらこちらに水たまりができ、開会式までの限られた時間の中、全員で必死に水抜き作業をしたことは今でも忘れることができません。

こうして長年にわたって皆様と共にスポーツ推進委員の任務に励むことができたことは、私にとってとても貴重な経験であり喜びです。無事、任務を遂行できたことは、言うまでもなく地域の皆様、地区の委員、各地区会長、区役所の皆様の協力があったからに他なりません。改めて感謝の意を表します。

地域のコミュニケーションは、スポーツ推進委員ひとりひとりの努力の結晶と言っても過言ではありません。これからも地域活動は永続的に続きます。今後もスポーツ推進委員全員の総力で、これまでの経験を活かしながら、より一層、暮らしやすい地域づくりを目指していただきたく、願ってやみません。

樽町地区 綱島 達雄



スポーツ推進委員の退任にあたり

今回、8年間務めたスポーツ推進委員を退任するにあたり、個々の行事において老若男女問わず地域の皆様との結びつきに直接かかわることが出来たことは非常に貴重な経験をさせていただきました。

近年、なかなか人々のつながりが希薄になりつつある中で、いい意味で昭和レトロな方法で、スポーツを通じたコミュニケーションは大切な結びつきだと思います。

駅伝実行委員会を歴任しての感想、駅伝への思い印象に残っているもの

駅伝実行委員としましては、年々大きくなる大会において地域、区役所、陸連の方々と年間を通して計画し、素晴らしい大会へと成長していく過程に参加ができました。

私も数年間、スタートとゴール時の先導、後尾担当としてトラックに入れない先導、後尾の自転車にトラック間の順位変動を伝える重要な役割でしたので常に緊張感をもっておりましたが、真近に選手と関わられたのでスタート時の迫力と、ゴールの時の感動は忘れられません。

残念ながら今年の大会がコロナの為、中止になってしまったことは本当に心残りでもあります。

来年はコロナ対策を万全にして素晴らしい大会の再開を心よりお祈り致します。

長い間ありがとうございました。

樽町地区 鈴木 伴彦

新ユニフォーム スタート

新ユニフォームはスポ進になって、何着目になるのだろうか？20数年前、先輩の御下がりに袖を通したのが最初。今度のアンダーアーマーは若干スリムでもあり、私にとって身体のフィット感は1番かな？気掛りなのは、暑い季節や冬の寒さの中で使ってないから、大丈夫だろうか？コロナ禍が収まり、早く披露できるのを楽しみにしている。

日吉地区 喜田 賢次



Before



After

令和2年度 スポーツ推進委員 表彰者一覧

横浜市スポーツ推進委員永年勤続者表彰

10年表彰		20年表彰		25年表彰	
氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区
矢作 伸一	日吉	浅田 一也	大倉山	晝間 俊雄	大倉山
池谷 誠	綱島	山本 翔平		川島 博	城郷
小嶋 富士夫		荒木 和也	城郷	小松 賢吉	新羽
倉田 明宗	樽町	神本 守		釣谷 和江	高田
角田 拓也		鎌田 憲一	新羽	25年表彰	
宇津木 亨	菊名	北島 和年	新吉田あすなろ		
吉川 秀則		五明 弘子	高田	全国スポーツ推進委員 連合功労者表彰	
			小松 賢吉	新羽	

令和2年度 港北区地域 スポーツ功労者表彰

港北区地域スポーツ功労賞(6名)

氏名	地区
伊藤 勉	日吉地区連合町内会
吉原 靖彦	綱島地区連合自治会
鈴木 功一	大曽根地区自治連合会
下田 悟	城郷地区連合町内会
内田 達	新吉田地区連合町内会
小笠原 亮二	新吉田あすなろ連合町内会



編集後記

32期では2年間で5号の広報誌を発刊いたしました。今期は特にコロナが発生して毎回の編集委員会ができるか心配でしたが、紙面会議を行いながら休むことなく発刊できました。多くの皆さんの協力のお陰と感謝いたします。まことにありがとうございました。

篠原地区 蒔野 秀治

